

高等院校日语专业系列教材 ● 总主编 修 刚 王健宜

高级 日语



下

主编 张秀华 赵文华

编者 张秀华 田 健 南 善 朱学松 曲 萌

Japanese

南开大学出版社

高等院校日语专业系列教材

总主编 修 刚 王健宜

高级日语

(下 册)

主编：张秀华 赵文华

编者：张秀华 田 健 南 善

朱学松 曲 萌

南开大学出版社

天 津

图书在版编目(CIP)数据

高级日语. 下册 / 张秀华, 赵文华主编. —天津: 南开大学出版社, 2005. 1

ISBN 7-310-02202-5

I. 高... II. ①张... ②赵... III. 日语—高等学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 118182 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人: 肖占鹏

地址: 天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码: 300071

营销部电话: (022)23508339 23500755

营销部传真: (022)23508542 邮购部电话: (022)23502200

*

南开大学印刷厂印刷

全国各地新华书店经销

*

2005 年 1 月第 1 版 2005 年 1 月第 1 次印刷

787×1092 毫米 16 开本 13.25 印张 328 千字

定价: 22.00 元

如遇图书印装质量问题, 请与本社营销部联系调换, 电话: (022)23507125

高等院校日语专业系列教材

编 委 会 名 单

总 主 编

修 刚 王健宜

编 委

张秀华 张晓希 张敬茹 石云艳 赵文华

序

进入 21 世纪以来,随着高等教育的迅猛发展,高校日语专业大幅度增加。据中国日语教学研究会的统计,中国高等学校中设立日语专业的学校已经由此前统计的 110 所,上升到 210 所左右,增加了近一倍。而天津的日语教育便是其缩影:曾几何时,天津的高校只有 4 所大学设有日语专业,而今不含高职院校已经有 8 所学校有了日语专业,而且专业设置和在校生数量仍在增加之中,更何况高职院校的日语专业和学生人数的增长更不可小觑。

日语专业设置和日语学习者的增多,使高校日语教学出现了空前繁荣的局面。与之俱来的,则是日语教材以及辅助教材数量的增长,从某种意义上可以说,高校日语教材也迎来了“战国时代”。有人对此感到不安,担心穷于选择,会造成混乱。其实不然,教材数量和种类的增长是一件好事。首先它是我国日语教学新时期的产物,同时也为百花齐放、百家争鸣提供了有利条件与氛围。只有经历这样的过程,适合中国日语教学的高质量教材才会应运而生。同时,我们也看到,由于教材需求大,市场热,因而“短、平、快”的单本或单科教材较多,而成系列的教材相对较少,更有一些教材的质量尚待提高。我们认为,编写教材的目的是为了切实提高教学质量,而教材本身的质量才是市场竞争的“赛点”。有鉴于此,本系列教材力图形成以下几个特点:

一是系列性强。内容的设置全面、简明而自成系列,不但有传统的精读课教材,还有文章选读、翻译、口语、文学概论、语言概论等,相互间既有关联,又避免重复。

二是编写人员的实力强。本套教材主要由南开大学和天津外国语学院两所大学的教师合作编写,这些教师长年工作在教学第一线,具有丰富的教学经验和宽阔的视野,教材采用单本主编负责制和系列教材编委会负责制的双负责制的方式,保证了教材的质量。

三是教材的实用性强。教材的编写力在结合中国人学习日语,中国成人学习日语的特点,既吸收最近国外的最新研究成果,又结合我国的日语教学的实际。以传授知识为主的教材,用中文撰写,而不是简单编辑,适合我国高校学生或同等学力的人员学习。

四是内容新鲜活泼。力图打破以往教材的古板生硬的方式,尽量结合青少年学习的特点,在注重知识性的同时,注意增强趣味性,使学习的过程成为一种乐趣,让学习者乐而学之。

学习日语的方式因人而异,教材使用也因人而异。但是只用一种教材就能学好日语的时代已经过时。在经济条件许可的条件下,手头多几本教材,可以在比较中学习,博采众长,有了知识的平台,多了许多新鲜感,强化了知识的系统性。

当然，在实际编写中，限于资料 and 人员等方面的原因，本套教材还存在有待改进的地方，我们推出它，也在于能在广泛听取意见的基础上使之进一步完善，在我国诸多日语教材中成为一套具有强大生命力的系列教材。

中国日语教学研究会 副会长 **修 刚**

中国日语教学研究会 副会长 **王健宜**

2004 年 8 月于天津

前 言

《高级日语》(上、下册)是南开大学外国语学院与天津外国语学院两校教师共同编写的一套日语高年级精读教材,供大学本科专业学生(含高自考生)使用。

本书为下册,共由20课构成。包括主课文、词汇表、句型及语法、构词法、“自我挑战”练习(即读解文)等四部分构成。其中“自我挑战”练习部分从词语、语法以及内容方面都是针对主课文的一种自测练习,是对所学知识的巩固与检验。

在本书的编写过程中,我们始终坚持了四个原则。在主课文素材的选定上,我们坚持了教材要与时俱进的原则,使课文同时具备时代感与实用性。其次,重视语用能力的培养、为全面而扎实地打好基础是我们的又一原则。第三,坚持在培养复合型、多用人材的实际交际能力上要有所创新的同时,又要在难度和分量上有所控制的原则,难易度把握在普通高校日语专业本科三年级的水平。在题材上,充分贯彻多样化的主导思想,所选用的文章包括随笔、小说、论说文、电影故事、评论等,使教材的知识覆盖面扩展,从而更加实用化。并且兼顾了注重在学习过程中,使学生更多地了解日本社会、民族文化、风情惯习等。第四,注重将所学知识与我国的实际相结合的原则,满足了素质教育的需要。

教材的编写是一项艰苦、细致的系统工程。在编写过程中,编者力求所编教材能够满足为社会主义现代化而培养高级日语人材的需要,为此,而付出了艰辛与努力。

本书(下册)由张秀华(第5课、第6课、第9课、第14课、第15课、第19课)、田健(第3课、第7课、第10课、第11课、第13课、第16课)、南善(第2课、第8课、第12课、第17课)、朱学松(第1课、第4课、第18课)、曲萌(第20课)共同编写而成。上册由赵文华、张秀华主编。赵文华、胡玉琴、梁淑梅、杨凤莲编著。南开大学日语系张园园、张晓霞、滕丽丽同学参加了本书部分内容的录入工作。

本书在编写过程中编者就部分内容请教过南开大学日本专家天宅功先生、加纳巧先生,并得到热情的帮助与悉心的指教,在此表示衷心的感谢。但由于时间紧迫以及编者水平所限,仍难免有疏漏及不尽人意之处,敬请日语界各位同仁予以指教,不胜感荷,并以期改进本教材。

编 者

2004年9月

目 录

第 1 課	学園祭	1
第 2 課	南天	9
第 3 課	かなの誕生	17
第 4 課	十秒の空白	25
第 5 課	外国人と身振り	34
第 6 課	夏は終わりぬ	43
第 7 課	人を食べた話	53
第 8 課	いのち	63
第 9 課	障子	72
第 10 課	気がすまない	83
第 11 課	趣味	95
第 12 課	水の東西	104
第 13 課	痴人の愛	113
第 14 課	被災地密着 30 日「神戸の悲惨と感動」	123
第 15 課	寅次郎の物語	134
第 16 課	フライパンで焼かれて	145
第 17 課	礼儀について	156
第 18 課	敬語の使い道	166
第 19 課	吾が輩は猫である	181
第 20 課	奥のほそ道	190
チャレンジの正解		196
文型と表現 索引		199

読む前に

1. 日本語には、「～祭」といった言葉がたくさんある。あなたが知っている「祭」をリストに纏めよう。
2. 学校では、日本の「学園祭」のようなイベントに参加したことがあるか。その経験を述べなさい。
3. 今日の中国において、学生を「無関心だ」と言って非難することがあるか。なぜだろうか。

第 1 課 学園祭

グレゴリー・クラーク

今日では、日本の若い世代を、「ひ弱だ」「態度が悪い」「無関心だ」と言って非難することが流行っている。たしかに、多くの若い人々の行動は概して褒められたものではない。けれども彼らは、本当にそれほど絶望的なのか。彼らに、行動を改善するようなモチベーションを持たせることは、本当に不可能なのだろうか。私は違うと考えている。真の問題は、日本の社会と教育制度が、彼らを正しい方向へ向かわせるインセンティブを与えることができないことだ。日本の若者がそのようなインセンティブを持ったとき、彼らは非常に精力的な、分別ある行動をとることができる。

日本の多摩大学では、他の大学と同様に、毎年十一月に学園祭がある。私は毎年必ず参加するようにしているが、それには幾つかの理由がある。まず、それが楽しいからというのが一つ。二つ目は、学園祭の場では、学生やときには父兄とも会う機会が多いこと。だがおそらく、より大切な理由は、学園祭に行けば、なぜ日本の教育が改革を必要としているか、またどのように改革を進めるべきなのかについて、多くのことを知ることができるからだ。

浮き浮きした気分の学園祭と、教育改革という深刻なテーマは、一見何の関係もないように見えるかもしれない。だが、もう一步深く考えてみていただきたい。日本の学生と生徒、とくに大学生は「怠け者」「勉強する意欲がない」と批判されている。だが、このような学園祭を組織したのはいったい誰だろうか。ほかでもない、「怠け者」で「意欲がない」学生たちだ。

ひ弱 [ひよわ] ① (形動) 纤弱, 软弱
非難 [ひなん] ① (名・他サ) 非难, 指责
流行る [はやる] ② (自五) 流行; (疾病) 流行
概して [がいてして] ① (副) 一般, 大体上
モチベーション [motivation] ③ (名) 动因, 引起动机
インセンティブ [incentive] ③ (名) 刺激, 动机
分別 [ぶんべつ] ① (名・他サ) 通情达理; 思考力
学園祭 [がくえんさい] ③ (名) 大学节, 全校性娱乐活动

父兄 [ふけい] ①② (名) 父兄; 家长

浮き浮き [うきうき] ① (副・自サ) 兴致勃勃, 兴高采烈
一見 [いつけん] ① (名・他サ) 一看, 乍一看
怠け者 [なまけもの] ①⑤ (名) 懒人, 懒汉
批判 [ひはん] ① (名・他サ) 批判; 批评

多摩大学では、学園祭の準備は一年近く前から始まる。主に一、二年生を中心に、二〇人ほどの実行委員会が発足する。そして学園祭の当日まで、ほとんど一年間というもの、定期的に集まって、総合的な準備計画を立てる。彼ら実行委員会の下には、たくさんの小委員会が作られ、細かい項目に従って、役割を分担し、担当する。

二日間にわたるメインホールにおけるイベントの流れが決められ、その中には学外からのタレントの招待も含まれる。また彼らの手により、必要な情報を盛り込んだ充実したプログラムも作られ、広告もたくさん取り、プログラムの中に割り振られる。さまざまな模擬店、展示、実演、パフォーマンスなどを計画し、キャンパスの各所に配置する。来客のための駐車場や、人の流れの整理などという地味な仕事も、特別の担当グループが受け持つ。グラウンドには、近辺の地域住民を巻き込んだフリーマーケットや、子どものためのさまざまなゲームやスポーツ、遊技場が設営される。劇場では演劇公演も連日予定される。

学園祭の当日の二日間は、実行委員会や小委員会の委員、クラスやサークル、ゼミなど出し物の担当者はもちろん、多くの一般学生が積極的に、キャンパスのあちこちに散らばった模擬店や展示やパフォーマンス、接客などの活動に参加する。その結果は、これだけのスケールと盛り上がりのある多彩なイベントを普通のコマーシャルベースの組織が請け負ったとすれば、数百万円は請求されるに違いないと思われるようなものに仕上がる。

私にとっては、これは組織力の奇跡としか思えない。一四〇〇名ほどの学生しかいない小さな大学にしては、まさに奇跡である。これと同じようなことを欧米の学生が組織するとしたら、学生たちは果たしてこれほど一生懸命に、情熱を注いでやれるだろうか。仮に彼らがこれに似たことをやっても、規模はこれよりはるかに小さくて、組織はメチャクチャになりがちだろう。ところが日本の学生は、欧米の学生よりずっとうまく組織できるだけではない。彼ら個々人は報酬も何も受けないのだ。それどころか、自分の金を持ち出すことさえある。また、これが卒業の単位に加算されるわけでもない。反対に、この準備に注ぐ時間が勉強時間を圧迫することを考えれば、単位を落とす可能性が強いのだ。

学園祭の学生たちは、なぜこんなにも努力できるのか。私が彼らにわけを訊ねると、いろいろな答えが返ってきた。「楽しいから」「新しい友達を作るチャンスになるから」等々。しかしおそらくもっとも的を射ているのは、二〇〇二年学園祭実行委員の一人の答えだったと思う。その意志的な顔つきの個性の強そうな学生は、

発足 [はつそく] ① (名・自サ)
(活动) 开始; 动身
当日 [とうじつ] ① (名) 当天
メインホール [main hall] ④ (名)
主馆, 主厅
学外 [がくがい] ② (名) (大学) 校外
タレント [talent] ① (名) 才能;
公众人物
盛り込む [もりこむ] ③ (他五)
盛进; 添入
プログラム [program] ③ (名)
节目 (单); 进度 (表)
割り振る [わりふる] ③ (他五)
分配, 分派
パフォーマンス [performance]
② (名) 演出; 展出
受け持つ [うけもつ] ③④⑤ (他五)
担当
近辺 [きんぺん] ① (名) 附近
巻き込む [まきこむ] ③ (他五)
卷入; 牵连, 连累
遊技場 [ゆうぎじょう] ① (名)
游艺场
設営 [せつえい] ① (名・他サ)
营建, 修建; 筹备 (会议等)
サークル [circle] ① (名) (兴趣相同者的) 小组; (大学里的) 社团
ゼミ [德 Seminar] ① (名) 课堂
演习; 研究班
出し物 [だしもの] ② (名) (演出的) 节目
散らばる [ちらばる] ④ (自五)
分散; 散布
接客 [せつきゃく] ① (名・自サ)
接待客人
盛り上がる [もりあがる] ④ (自五)
凸起; (力量、想法) 高涨
コマーシャルベース
[commercial base] ⑥ (名) 商业核算
請け負う [うけおう] ③④ (他五)
承包, 承办
仕上がる [しあがる] ③ (自五)
做完, 完成
奇跡 [きせき] ① (名) 奇迹
注ぐ [そそぐ] ③④⑤ (自他五)
注入; 倾注
報酬 [ほうしゅう] ① (名) 报酬
単位 [たんい] ① (名) (数字) 单位; 学分
加算 [かさん] ① (名・他サ)
加上, 加在一起算
圧迫 [あっぱく] ① (名・他サ)
压迫; 压低
的 [まと] ① (名) 靶子
射る [いる] ① 射, 射击

即座に言った。「充実感」。

その答えは、私にとって重要だった。学生は誰でも、世界中のどこでも、充実感を求めている。けれども、欧米や世界の多くの国々では、たとえば中国や韓国も含めて、学生はより個人的なやり方でそれを手に入れることができる。彼らの人生の中心的目的は、自分自身のキャリアを築くことだ。彼らはより自己中心的である。彼らの努力は、主に自分自身の個人的状況を改善することに向けられる。それがあから、それを利用して、容易に勉強へのインセンティブと充実感を与えることができる。他方、彼らに日本のように自分たちの学園祭の準備のために数カ月もかけるようにモチベーションを持たせるようとしても、彼らのほとんどはおそらく、そこには自分自身にとって、また将来の自分のキャリアにとって、プラスになるものは見出せないと考えるだろう。

日本人は違う。彼らは直接的な、感性的な、そして人間関係的なインセンティブに非常に積極的に応じる。このようなインセンティブがあれば、彼らは信じられないような努力をし、熱意を発揮することができる。

ところが、もしこのようなより直接的な、感性的な、人間関係的なインセンティブが目の前にないと、その場合日本人は、とくに学生にはそうした傾向が強く見られるが、意欲的に、一生懸命になることが難しくなる。残念ながら、これが今多くの日本の学校や大学で起きている状況なのだ。

多摩大学の学園祭の実行委員はじめ関係者の努力を目のあたりにした後、一兩日たって私は授業で教室に入った。そこにいた学生たちの顔は、私が学園祭の実行委員会で見た、あの意欲的な緊張感に満ちた顔を持った学生と比べると、同じ多摩大学の学生だとは信じられない思いだった。皮肉なことに、それらの無気力な顔の学生の中には、実行委員会のメンバーもいた。

(グレゴリー・クラークの『なぜ日本の教育は変わらないのですか』の一部に筆者が加筆したもの)

即座【そくざ】①(名) 当场; 马上

キャリア【career】①(名) 经历; (做某种工作的) 年头
築く【きずく】②(他五) 修筑; 积累
容易【ようい】③(形動) 容易

応じる【おうじる】④③(自一) 回答; 应对
熱意【ねつい】①(名) 热情
発揮【はっき】②(名・他サ) 发挥

目のあたり【めのあたり】③(名) 眼前; 直接

満ちる【みちる】②(自一) 充满

文型と表現

①たしかに、多くの若い人の行動は概して褒められたものではない。

●“ものだ”接在用言连体形后面，表示“按照常规，理应如此”，相当于“～するのが当然だ”，它所表示的不是某个人的意见，常用于基于某种道德的或社会的常识的说教。句型“ものではない”常用于表达基于常理的劝告、禁止等，相当于“～しないのが当然だ”。

- もう 10 時半だよ。早く寝なさい。子供は 10 時前に寝るものだ。
都已经 10 点半了！快睡！小孩子 10 点以前就应该睡觉。
- 人の意見を素直に聞くものだ。
应该认真听取别人的意见。
- 借りたものは返すものだ。
借东西要还。
- 弱い者いじめをするものではない。
不要欺负弱者。
- 無駄遣いをするもんじゃない。お金は大切にするものだ。
不要乱花钱。对钱要懂得珍惜。

②私は毎年必ず参加するようにしているが、それには幾つかの理由がある。

●“～ようにする”表示“努力做到、用心做到”，包含了动作主体的意志。

- 明日からは毎朝六時に起きるようにします。
从明天起我要每天六点起床。
- 健康のために一週間に一度泳ぐようにしています。
为了身体健康，我坚持每周游一次泳。

③a その結果は、これだけのスケールと盛り上がりのある多彩なイベントを普通の商業ベースの組織が請け負ったとすれば、…。

b これと同じようなことを欧米の学生が組織するとしたら、…。

c 仮に彼らがこれに似たことをやったととしても、…。

●“～とすれば”“～としたら”“～とすると”接动词基本形或过去时态后，表示纯属假设的假定条件，“と”前面接假设的内容。这三个表现的含义和用法基本相同。但“～とすれば”用于逻辑推理较强、较严肃の場合；“～としたら”则偏重于口语化的表达；“～とすると”则能够产生与后项衔接的紧迫感。“仮に～としても”表示“就算……，也……。”

- 東京大学を受験するとしたら、どんな準備が必要でしょうか。
如果要报考东京大学的话，该做哪些准备呢？
- もし大学に進むとすれば、一人暮らしをすることになる。
如果上了大学，则要开始一个人的生活了。
- 運転免許証を取るのに 30 万円以上もかかるとすると、今の経済状況では無理だ。
如果拿驾照需要 30 多万日元的话，按现在的经济状况恐怕够呛。

④それどころか、自分の金を持ち出すことさえある。

●“どころか”一般接在名词或用言连体形后面表示不仅仅局限于前面提到的事物或情况，在这里，它作为句中独立的成分，表示“不仅不……，甚至还……”，前后为正好相反的两种情况；还可用于表示“别说……，就连……（都）”，用以说明程度之甚。在承接上句进行说明时，常使用“それどころか”。

- タクシーで行ったら道が込んでいて、早く着くどころか、かえって 30 分遅刻してしまった。
打车去了，结果路上堵车，不仅没早到，反而晚了 30 分钟。
- 天気がよくなるどころか、ひどい風雨になった。

天气不仅没有转晴，反而开始风雨大作。

3. 話をするどころか、会ってもくれなかった。

别说讲话，见都没肯见。

4. この製品はアジア諸国どころか、遠い南米やアフリカにまで輸出されている。

这种产品不仅出口亚洲各国，甚至远销南美和非洲。

5. うちの父はお酒はまったくだめで、ウイスキーどころか、ビールも飲めない。

家父一点酒都不能沾，别说威士忌，就连啤酒都喝不了。

6. ちっとも寒くはありません。それどころか、走ってきたので、汗ばむほどです。

一点都不冷。不仅如此，因为是跑来了，都有些出汗了。

7. 彼女は独身じゃありません。それどころか、子供が二人もいるんです。

她并非单身。不仅如此，都已经有两个孩子了。

⑤また、これが卒業の単位に加算されるわけでもない。

●“わけだ”接用言连体形，表示“理应如此”，一般有比较可靠的理由。“わけではない”“わけでもない”为“わけだ”的否定形式，表示“未必如此、并非如此”，相当于“～ということではない”。在此句中，表示“并非如此”。

1. 30 ページの宿題だから、一日に3 ページずつやれば10 日で終わるわけです。

一共是30 页的作业，如果一天做3 页，全部做完得用10 天的时间。

2. 熱が四十度もあるのですから、苦しいわけです。

四十度高烧，当然难受了。

3. 自動車立国というが、日本人がみんな車をもっているわけでもない。

虽然讲汽车立国，但也并非每个日本人都拥有汽车。

4. あなた一人が悪いというわけではありません。

这也并非你一个人的错。

5. 郵便物を受け取っても、我々はその全てを熟読するわけではない。

我们拿到报刊杂志，也并非熟读其全部内容。

⑥その意志的な顔つきの個性の強そうな学生は、即座に言った。

●“つき”为接尾词，接在体言后，表示“样子、姿态”。“顔つき”意为“相貌、表情”。又如“手つき/手势、目つき/眼神、体つき/体格”等。

1. 彼は不慣れな手つきで箸を使う。

他用极不习惯的手法用筷子。

2. やさしい目つきで彼を見ている。

用温柔的目光看着他。

3. 体つきががっしりしている。

健壮的体格。

●此外，还可以表示“附带；从属于，跟随”等含义。如“保証つき/有保证、昼食つき/包午餐、部長つきの秘書/部长秘书、条件つき/附有条件”等等。

⑦だがおそらく、より大切な理由は、学園祭に行けば、なぜ日本の教育が改革を必要としているか、…。

●“より”在这里用作副词，一般接在形容词或形容动词前，意为“更（为）……，较（为）…

…”,表示稍高于(或低于)现有程度或一般标准。如“よりよい、より深く”等等。这种方法最早用于翻译西方语言中的比较级,因此带有较浓的翻译腔。

1. 多くの大学生は、より専門的で、より大学生のメリットを発揮できる仕事を選ぶようになり、収入も高くなった。

现在许多大学生开始寻找更加与所学专业对口、更能发挥大学生特长的工作,收入也随之越来越高。

2. より楽しい大学生活

更加快乐的大学生活

3. 交通通信が便利になるに従って、より孤独になっていくのではないか。

随着交通和通讯的发达,人们岂不是变得更加孤独。

4. わが国の経済援助のより効果的な使い方を検討してみる。

探讨如何把我国的经济援助利用得更有效果。

チャレンジ

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

重苦しいほどむし暑いわ晩だった。

空には星ひとつなく、海は不気味に静まりかえっている。

私はいつものように、後甲板の方へ歩いていった。後甲板には先客が一人いた。デッキの手すりにもたれ、その男はしきりに暗い海をのぞきこんでいる。

「今晚は」

と私は声をかけた。

ふりかえった男の顔は骸骨のように痩せ細っていた。眼が落ちくぼみ、顔色がひどく①アオジロイ。

「今晚は…」

男は低くしゃがれた声でそう云うと、薄い②クチビルをゆがめて笑った。

私は男の隣に歩み寄って、同じように暗い海をみつめた。海はいつでも私をもの哀しい気分させる。海の中にいる誰かがよんでいるような…。

「いやな晩ですね」

と私は云った。

a 「そうですか…」

男は骨ばった長い指で髪の毛をかきあげた。

「ぼくはこんな晩の方が好きなんです。なんとなく不気味で面白いじゃありませんか」

私は変わった男だなと思った。私が黙っていると、彼は問いかけてきた。

「b この船に幽霊が出るという噂があるんですが、知っていますか？」

「幽霊？」

と私は聞き返した。

「ええ。やはりぼくたちみたいな客の一人が、自殺したことがあるんだそうです。こんなふう

に重苦しくて、風のない晩だったと云いますよ。その男はしばらく海を眺めていて、ふいに飛びこんだんです。ちょうどここから、今、ぼくらがこうしているところからね…」

c 男は私の顔をのぞきこむようにして、にやりと笑った。

「あがった屍体は、右の腕がなかったそうです。スクリュウに切りとられたのかもしれませんがね」

二人は暗い海にほの白く泡だっているスクリュウのあとをしばらくみつめた。

「それで、その幽霊が出るんですね」

私の声は少しふるえているような気がした。

「ええ、自分の失った右腕をさがしているのだという噂です。こういうふうにむしむしして、海が妙に静まりかえった晩、d 男が一人でその海を眺めている。」そして、しばらくするとふっと消えてしまうのです」

男は自分自身をかき消すようなしぐさをした。

「なぜ、その男が自殺したのか知っていますか？」

と私は訊いた。

「e _____、なんの原因もないのです。金に困っているわけでもなく、③シツレンしたわけでもなかった…」

④マユをひそめ、男は遠い所を見る眼つきで海をみつめた。

「多分…」

と云って男は口ごもった。

「多分、この海を見ているうちに、なにもかもいやになったのでしょうか。そして、ひきずりこまれるように、飛びこんだのでしょうか。ぼくには、その気持がわかるな。こうしていると、なにもかも忘れて、この海の底で眠りなくなる。あなたは、そう思いませんか？」

私も、海をみつめた。海は暗く、静かに私を呼びかけているように思えた。

「そうなのです」

ため息を吐きながら、私は云った。

「それで、あの晩私は飛び込んだのです」

私の右腕がないのに男が気づいたのは、その時だった。

問1 傍線部①～④のカタカナを漢字に直しなさい。

①	②	③	④
---	---	---	---

問2 傍線部 a の「そうですか…」の意味に最も近いのはどれか。

- ア 私もそう思います。
- イ 私はそう思いません。
- ウ 私は夜が嫌いです。
- エ 私も夜が嫌いじゃありません。

問3 傍線部 b 「この船に幽霊が出るという噂」とあるが、この噂によると幽霊はどんなときに出るか。

- ア むし暑くて海の静かな晩
- イ もの哀しい気分にさせる晩
- ウ 海がほの白く泡だっている晩
- エ 自殺したいと思っている客がいる晩

問4 傍線部c「男は私の顔をのぞきこむようにして」の中の「ように」最も近い意味で使われている文を、一つ選びなさい。

- ア かぜが早く治るように注射を打ってもらいました。
- イ 電話で話したように、この問題はもう解決しました。
- ウ 試合に勝って、あの子は鬼の首を取ったように得意になっている。
- エ 困ったときは連絡するように。

問5 傍線部d「男が一人でその海を眺めている」とあるが、それは何のためか。

- ア 自殺するため
- イ 自分の右腕をさがすため
- ウ 幽霊が出るのを待つため
- エ 海の中にいる誰かを呼ぶため

問6 傍線部eに入る適当なことばを選びなさい。

- ア それを イ それで ウ それに エ それが

問7 次の「幽霊」について述べたもののうち、正しいものを選びなさい。

- ア 「私」が幽霊だった。
- イ 甲板にいた男が幽霊だった。
- ウ 甲板にいた男と「私」が幽霊だった。
- エ 幽霊は出てこなかった。

本文を読んで、みんなで話し合おう

1. 文中で筆者はなぜ金の支払いでへとへとに疲れたが、「あと味のよい疲れ」を感じたのか。
2. 文中の水道さんは、なぜほんの少しの修理代しかとらないのか。
3. どうすれば年取っても甲斐のある人生を過ごすことができるのだろうか。

第2課 南天

出久根達郎

正月早々、トイレの水洗タンクが故障した。やっかいなことになった。どこの水道屋さんにも正月休みで、人がいないのである。

方々に電話をかけまくって、ようやく一軒、店は休みだが、おこまりでしょうから、見てあげよう、という奇特な業者に行きあった。地獄に仏の思いである。

私の家から車で十分ほどの、お店である。工事屋さんとは自転車でやってきた。七十歳なかばの、ひょうひょうとしたご老体である。

せがれたちは酔って仕事が出来ないから、自分がかわりにきた、と弁解して、早速修理にかかってくれた。しばらく現場から離れているので心もとないが、ということだったが、手際よく直してくれた。ついでに、水洗タンクの仕組みを説明してくれた。

修理代を聞いたら、べらぼうに安いのである。それでは手間にもならない、と言っても、これで十分、と聞かない。昔かたぎの職人さんで、頑固一徹だったらしい。言い値に色をつけて、正月のご祝儀ということで、ようやく納得していただいた。金の支払いでへとへとに疲れたが、あと味のよい疲れである。

故障というものは続くもので、今度は台所の水道の蛇口が駄目になった。水が止まらない。パッキングが古びてすりへったのだろうと、取り換えてみたのだが、うまくいかない。どうやらパッキングが合わないらし

早々[そうそう]①(名・副)匆匆、赶紧; 刚刚
タンク①(名)(装水、瓦斯、罐等的)容器、大桶、大罐、大槽; (军)坦克

厄介[やっかい]①(名・形動)麻烦、难办、难对付; 照料、照顾

方々[かたがた]②(名・副)各位; 各处; 种种; 这个那个

奇特[きとく]①(形動)令人钦佩、可嘉、值得称赞; 奇特、珍奇

業者[ぎょうしゃ]①(名)(工商)业者; 同业者

行きあう[ゆきあう]③(自五)遇见、碰见

ひょうひょう①③(形動)轻飘飘; 步履蹒跚; 飘逸

老体[ろうたい]①(名)老躯; 老人

せがれ①(名)(自己的)儿子; 小子、小家伙

弁解[べんかい]①(名・自他サ)辩解、分辩、辩明

こころもとない⑥(形)靠不住、担心、不放心

仕組み[しくみ]①(名)结构、构造; 情节; 计划、企划

べらぼう①(名・形動)不象话、不合理; 非常、很

手間[てま]②(名)(工作需要的)时间和劳力

職人[しょくにん]①(名)手艺人、工匠

頑固[がんこ]①(名・形動)顽固、固执; 痼疾一徹

一徹[いつてつ]④①(名・形動)固执、顽固

言い値[いいね]①(名)要价、开价

祝儀[しゅうぎ]①(名)祝辞; 赠品、贺仪; 赏钱; 庆祝仪式、典礼、婚礼

納得[なっとく]①(名・自他サ)理解、领会、同意、信服

へとへと①(副)非常疲惫、精疲力竭、筋疲力尽

後味[あとあじ]①②(名)(饭后的)口中余味; 事后回味

古びる[ふるびる]③(自上一)变旧、陈旧

すりへる①③(自五)磨损、磨薄; 劳神、费劲

パッキング①(名)包装、打包; 垫圈、垫片